

四国 ME の会 フォローアップ研修
～地方自治体の持続可能なインフラメンテナンスに向けて～

インフラの老朽化が進む中、地方自治体が管理する小規模・多数の施設は、人員・予算の制約から事後保全型の管理から脱却できず、持続可能性が大きな課題となっています。特に、効率化の鍵となる新技術（AI、ドローン等）は、小規模施設が故その導入が遅れているのが現状です。本講習会は、この現状を打破する一助になればと、小規模施設における新技術の活用事例をご紹介します。持続可能なメンテナンス体制構築に向けた実践的な情報収集の場を提供します。

また、特別講演では、小規模橋梁に特化した効率的な点検手法について専門家が解説します。「新技術による効率化」と「地域インフラを支える体制づくり」の両面から、今後のインフラメンテナンスの方向性を共に議論します。皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

主 催：四国 ME の会、愛媛大学防災情報研究センター

日 時：令和 7 年 12 月 18 日（木） 13:30～16:30（受付 13:00～）

会 場：二番町ホール（愛媛県松山市二番町 3 丁目 8-21 久保豊二番町ビル 3F）

参加者：四国 ME の会会員 及び インフラメンテナンスに関わる全ての技術者

定 員：会場 40 名（定員になり次第終了）、及び Web

参加費：無 料

参加申込：申込みフォームより参加者一人ずつ申請をお願いします。

プログラム

13:30～13:40 開会挨拶

第一部：技術紹介

13:40～14:30 インフラメンテナンス技術

① トンネル点検 DX ソリューション～小規模トンネルにおける省力化～

富士フイルム株式会社 内山 圭司 氏

② 橋梁点検調書作成支援システム「タテログ」

株式会社ジャスト 梅田 貴大 氏

DAC-NOTE 株式会社 岡辺 スバル 雅之 氏

14:30～14:40 休憩

14:40～15:30

③ テラセルマットレス工法

東京インキ 株式会社 森 弘行 氏

④ 路面損傷調査システム

株式会社 愛亀 黒河 洋吾 氏

15:30～15:40 休憩

第二部：地方自治体のインフラメンテナンス

15:40～16:40 特別講演

⑤ 『自治体の小規模橋梁を対象とした橋梁基本定期点検導入』

大阪大学 産業科学研究所 助教 鶴田 修一氏

16:40～16:45 閉会の挨拶

申込方法：下記申込フォームまたは右 QR コードより 1 名ずつお申し込みをお願いします。

【申込みフォーム】

<https://forms.gle/WJybNS4yThvZ8FBv9>



申込開始日：11 月 3 日(月)

申込期日：12 月 12 日(金)，会場は定員になり次第，締め切ります。

問合せ先：Email n-katayama@daiichi-c.co.jp

TEL 088-821-7770(第一コンサルタンツ 設計部橋梁構造課 片山まで)

(その他)

- ・お越しの際は、公共交通機関又は近隣の駐車場をご利用ください。
- ・本講演会は、土木学会 CPD、全国土木施工管理技士会連合会 CPDS 単位を申請予定です。単位認定をご希望の方は、申し込み時にご連絡ください。当日、聴講終了後に受講証明書をお渡しいたします。
なお、CPD、CPDS につきましては会場参加の方に限定させていただきます。
- ・Web 聴講における配信 URL につきましては、お申し込み時にご登録いただきましたメールアドレスに URL を送付いたします。URL の送付については、3 日前を目安に送付いたします。